読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山県矢掛町小田の山ノ上地区で、特産の干し柿作りが最盛期を迎えました。記事を読み質問に答えましょう。

低学年もチャレンジ！

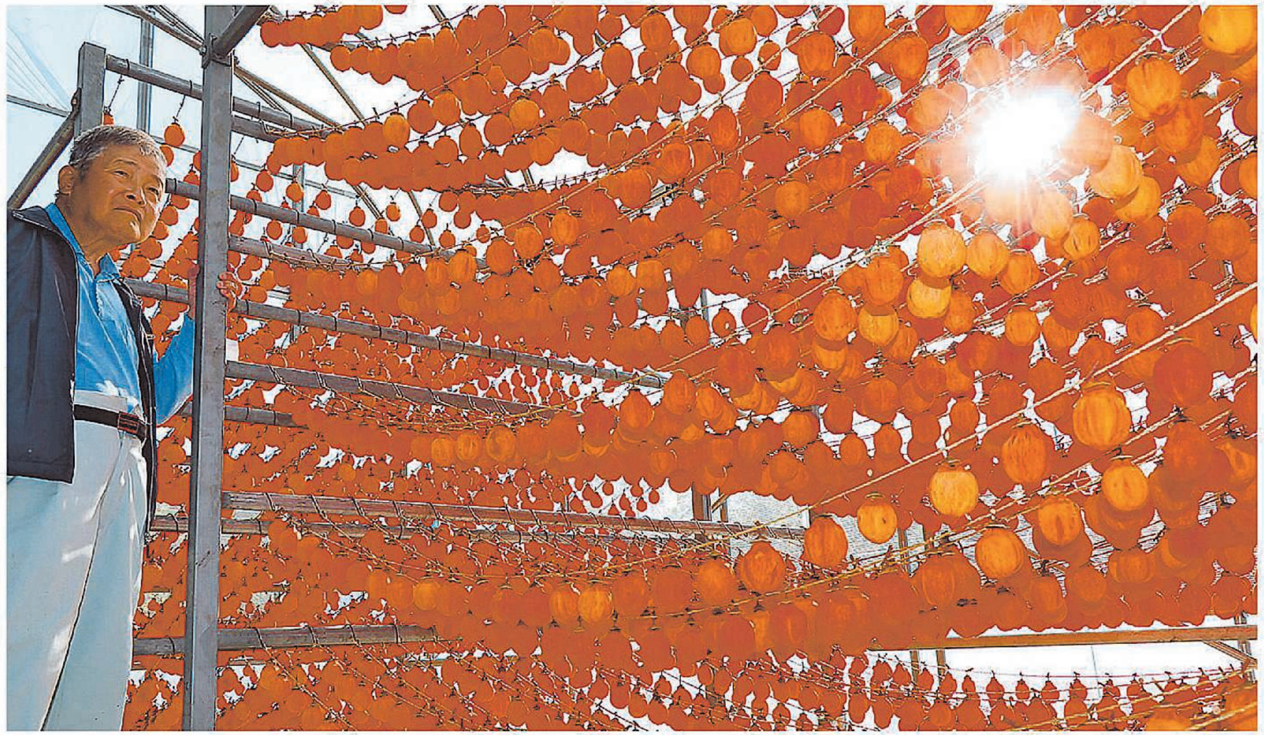
Q１ 記事の写真を見て、撮り方で工夫しているなと感じたことを書いてみましょう。

Q２ 地区は標高約200㍍にあり、干し柿作りの適地とされています。生産に適した気象条件は何ですか。第２段落を参考に２点答えてみよう。

2023年11月5日付、1面

輝く陽光 甘み凝縮

岡山・矢掛 干し柿作り



陽光を浴びて甘みを増していく干し柿

岡山県矢掛町小田の山ノ上地区で、特産の干し柿作りが最盛期を迎えた。秋の陽光を浴びた実が、日を追うごとにだいだい色からあめ色に変わり、甘みを凝縮させている。

地区は標高約200㍍にあり、日当たりが良い上に霧が少なく干し柿作りの適地という。明治期から生産が盛んで、現在は農事組合法人・山ノ上干柿組合が中心。今季は10月22日から西条柿の収穫や皮むきを始めた。

同組合のビニールハウスには、ひもにつるされた柿がずらり。天日で約40日間干して完成させる。例年並みの約5万個の生産を目指しており、11月下旬から年末年始の贈答用などとして県内外に出荷する。

組合の山岡威代表理事(75)は「猛暑で心配したが玉太りは上々。伝統の上品な味を届けたい」と話している。（入野晶彦）

Q３ 今年は約５万個の生産を目指しています。この数字は通常の年と比べてどうですか。次の三つから一つを選んで。

①多い
②少ない
③同じくらい

過去の問題はこちらから ▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。